

ひなげし揺れる 野原を駆け抜け

ノルマンディー地方とパリ地方で、
画家たちがインスピレーションを得た
「幸せなひととき」を、あなたも体験
してみませんか。

印象派を巡る旅
幸せなひとときを探しに

クロード・モネ「睡蓮の池、緑のハーモニニー」、1899、ハリ・オルセー美術館蔵





印象派を巡る旅

幸せなひとときを探しに

印象派を訪ねて：パリ、その周辺地域、そしてノルマンディーでの滞在。

画家たちの邸宅、素晴らしい美術館、手つかずの自然が残る風景：2026年、クロード・モネの没後100周年を記念した、充実した芸術プログラム。

本資料では、パリおよびその周辺地域、そしてノルマンディーを結ぶ「印象派のデスティネーション (La Destination impressionniste)」をめぐる、提案型のモデルツアーをご紹介します。19世紀の偉大な画家たちの足跡をたどるこの旅は、**すぐに造成・販売いただける旅行プラン**としてご活用いただけます。クロード・モネからベルト・モリゾ、ルノワール、カイユボット、ドガ、ピサロ、シスレーといった巨匠たちが、この地で無限のインスピレーションを得ていたのです。

この**印象派の旅**は、他にはない文化体験、屋外アクティビティ、そしてフランス流のアート・ド・ヴィーヴル（暮らしの美学）を組み合わせ、**魅力ある旅行商品として提案可能です**。

個人旅行にも団体旅行にも対応可能。週末旅行から6～8日間の長期滞在まで柔軟にアレンジできます。

旅の途中では、エトルタ、オンフルール、ルーアン、ジヴェルニー、パリ、モレ・シュル・ロワン、オヴェール・シュル・オワーズ、シャトゥーなど、**手つかずの自然が残る風景**を巡ります。これらの場所は、印象派の傑作にインスピレーションを与えた場所であり、ノルマンディー特有の光やセーヌ川の流れの中で、**画家たちが感じた感情を体感することができます**。

印象派の観光地には**印象派の傑作の最も大規模な常設コレクションを展示する15の素晴らしい美術館のネットワークもあります**。

芸術家たちの家も訪問でき、絵画教室やリバークルーズ、自転車で巡るセーヌの蛇行地域など、ユニークな屋外体験も充実しています。

2026年はクロード・モネの没後100周年にあたります。これを記念して、モネの生涯と作品の重要な場所を巡る、特別なプログラムが企画されています。世界中の芸術愛好家向けに、付加価値の高い文化的な滞在プランを企画する絶好の機会です。



パリ、イル・ド・フランス、ノルマンディー ...

印象派の世界をめぐる特別な旅





クロード・モネ「ひなげし」、1873、パリ・オルセー美術館蔵、Photo © Musée d'Orsay - RMN

パリ、イル・ド・フランス イエールからオヴェール・シュル・オワーズへ



1日目

イエール、モレ・シュル・ロワン、バルビゾン：
パリ南部の印象派とその先駆者たち

2日目

パリ・モンマルトル：
印象派の傑作を鑑賞し、当時の活気
に思いを馳せる

3日目

オヴェール・シュル・オワーズ
ヴィンセント・ヴァン・ゴッホの足跡をたどる

4日目

パリからシャトウとその周辺：
セーヌ川沿いの憩いを、パリ近郊で満喫

イエール、モレ・シュル・ロワン、バルビゾン： パリ南部の印象派とその先駆者たち

パリからほど近いイエールとバルビゾンの間には、印象派やその先駆者たちの足跡が色濃く残る広大な地域が広がっています。画家たちの邸宅、美術館、活気あるギャラリーなどが点在するこの地で、彼らの足跡をたどりながら、森や魅力的な村々、小川の流れなどを巡ってみてください。

1日目

午前

パリからカイユボット邸へ移動。所要時間（距離）：40分（24km）

- ① カイユボット邸とその壮大な庭園を見学
画家が住んでいた当時そのままに修復・改装された邸宅。彼はここで90点近い作品を生み出しました。
見学時間：3時間（菜園、貯氷庫を含む）。ボートのレンタル可。団体は最大30名まで対応。

カフェ・ギュスターヴでランチ

- ・オプション：公園でのピクニック

.....

イエールからモレ・シュル・ロワンへ移動。所要時間（距離）：50分（54km）

- ② シスレーの絵画の複製を鑑賞し その足跡をたどりながら中世の街を散策。
見学時間：1時間30分。

- ・オプション：大麦糖の製造工程が学べる博物館見学と試食
- ・オプション：ロワン川をカヌーで川下り

モレ・シュル・ロワンからバルビゾンへ移動。所要時間（距離）：20分（20km）

- ③ フォンテーヌブローの森のはずれにあるバルビゾンに到着。ここはミレーやルソーなど、「バルビゾン派」の風景画家たちの足跡が残る地です。

バルビゾンで夕食、パリ泊。

午後



パリ、イル・ド・フランス イェールからパリまで



パリ・モンマルトル： 印象派の傑作を鑑賞し、当時の活気に思いを馳せる

パリは、この旅で欠かせない立ち寄り地のひとつです。1859年、クロード・モネは“目がくらむようなパリ”と呼んだこの都に到着します。カフェコンサートや舞踏会、サーカス、オペラなどが次々に誕生し、街はかつてない活気に包まれていました。モネ、ドガ、ルノワール、ピサロ、カイユボットらは、この躍動する都市とその生活に強く惹かれていったのです。

2日目

午前

パリでは、印象派の傑作とその舞台となった象徴的な場所を巡ることができます。

① 世界一の印象派コレクションを誇る美術館・オルセー美術館を見学。

- ・ オプション：レオポール・セダール・サンゴール橋を渡ってオランジュリー美術館へ。モネの「睡蓮」連作を鑑賞後、チュイルリー公園を散策しながら、オペラ座方面へ。グラン・ブールヴァールのにぎわいも魅力。
- ・ オプション：オペラ・ガルニエでドガが描いたバレリーナの世界に触れる。

1874年に第1回印象派展が開かれた、写真家ナダールの旧アトリエ近く。歴史ある場所にたたずむカフェ・カピュシーヌでランチ

.....

ぜひ足をのびしたいモンマルトルの丘。歴史を刻む広場やカフェ、ナイトスポットには、印象派の時代の高揚感と“生きる喜び”が今も息づいています。

② モンマルトル美術館とブドウ畑見学
見学時間：1 時間 30 分

- ・ オプション：モンマルトル美術館の庭に佇むカフェ・ルノワールで、パリの街並みを眺めながらのティータイム。
- ・ オプション：Normandy Melody による、芸術家ゆかりのモンマルトル散策。

印象派の画家たちに親しまれ、ゴッホの作品「ラ・ギャングット」にも描かれた老舗ラ・ボンヌ・フランケットで、にぎやかな夜をお楽しみください。

- ・ オプション：ムーラン・ド・ラ・ギャレットでディナー

パリ泊

午後

オヴェール・シュル・オワーズ：ヴィンセント・ヴァン・ゴッホの足跡をたどる

1890年春、ゴッホはオヴェール・シュル・オワーズに移り住みました：“オヴェールは実に美しい”、と彼は弟のテオに書いています。ゴッホは最期の70日間をそこで過ごし、有名な教会を含む80点以上の作品を描きました。オヴェール・シュル・オワーズは、印象派の先駆けとなった風景画家、シャルル・フランソワ・ドービニーとコロー、そして印象派のピサロとセザンヌとゆかりの深い地でもあります。

3日目

午前

パリからオヴェール・シュル・オワーズへ移動。所要時間（距離）：40分（32km）

- ① ゴッホの足跡をたどるガイドツアー：画家たちの足跡が残る小道、ヴァン・ゴッホ兄弟の墓、教会、麦畑。
見学時間：1時間30分～2時間

ヴァン・ゴッホの家として知られるラヴー旅館で昼食

.....

- ② ゴッホの寝室を見学。
見学時間：45分

アブサン博物館の見学とアブサンの試飲。
見学時間：1時間30分

- ③
- ・オプション：展示会 ゴッホ、最後の旅 オヴェール・シュル・オワーズ城。見学時間：1時間～1時間30分
 - ・オプション：ドービニーのアトリエ。見学時間：1時間30分
 - ・オプション：画家ドービニーのアトリエ船に乗ってオワーズ川を遊覧。
所要時間：2時間

パリへ移動。

パリでディナー、宿泊。

午後



パリ、イル・ド・フランス オヴェール・シュル・ オワーズからシャトゥーへ



パリからシャトゥーとその周辺： セーヌ川沿いの憩いを、パリ近郊で満喫

シャトゥーやブージヴァル、セーヌ川の蛇行がつくる風景の中心を訪ねて、印象派の画家たちが描いた“生きる喜び”を体感してみましょう。モネの「ラ・グルヌイエール」やルノワールの「舟遊びをする人々の昼食」は、まさにその時代の空気を見事に映し出しています。ギャングット（野外の酒場）、ダンス、カンカン帽の下での昼寝、ボート遊び、草の上でのピクニック。そんな自由に幸福な時間が、今も流れています。

4日目

午前

- ① マルモッタン・モネ美術館見学（クロード・モネとベルト・モリゾの世界最大の所蔵数）
見学時間：1 時間 30 分

パリからシャトゥーへ移動。所要時間（距離）：20分（13km）

- ② ルノワールが「舟遊びをする人々の昼食」で不朽の名作として描いたレストラン「フルネーズ」で昼食。

フルネーズ村とフルネーズ美術館を見学：ルノワールのホログラムとともに巡る映像演出付きの見学コース。見学時間：2 時間

セクアナ協会のボートのコレクションの見学 と、セーヌ河畔の散策。
見学時間：1 時間

- ・ オプション：ブージヴァル方面へ行きベルト・モリゾの家を見学。
見学時間：1 時間
- ・ オプション：アルジャントゥイユ方面へ行き モネが住んでいた印象派の家を訪問。見学時間：1 時間 30 分

シャトゥーからロルボワーズへ移動。所要時間（距離）：45分（50km）

ドメーヌ・ドゥ・ラ・コルニッシュでディナー、宿泊。

午後

プログラム終了
パリおよびイル・ド・フランス地域圏

2025年 新着情報

ブージヴァルのベルト・モリゾ邸

ベルト・モリゾが暮らし、絵を描いた家の中にある展示室には「ブージヴァルの庭のウジェーヌ・マネと娘」、「ブージヴァルの庭」などの作品が展示されています。



クロード・モネ、睡蓮の池、緑のハーモニ、オルセー美術館



英仏海峡

コート・ダルバトル

ディエップ

シェルブール・アン・コタンタン

エトルタ

ルーアン
ブークル・ド・ラ・セーヌ

ル・アーヴル

セーヌ河口

ルーアン

オンフルール

セーヌ

ドーヴィル

カーンからコタンタンまで

カーン

ジヴェルニーとその周辺

ジヴェルニー

1日目

クロード・モネの絵画の源流、
ル・アーヴル、オンフルール

2日目

エトルタからディエップへ
アルバトル海岸の断崖絶壁に魅せられて

3日目

ルーアンとセーヌ川迂曲部
モネ「ルーアン大聖堂」連作の舞台へ

4日目

ジヴェルニー
モネの創作の源をたどる場所

ノルマンディー
ジヴェルニーからル・アーヴルへ

クロード・モネの絵画の源流、ル・アーヴル、オンフルール

ル・アーヴルからオンフルールまで、クロード・モネの芸術的感性を目覚めさせた場所を巡り印象派の誕生の瞬間を追体験してください。ル・アーヴルで「印象・日の出」の誕生の地を訪ね、その後、モネや多くの芸術家たちが集い、インスピレーションを得たオンフルールのサン・シメオン農場へ。画家たちの創造の源となった地をめぐる旅です。

1日目

午前

ドメヌ・ドゥ・ラ・コルニッシュからル・アーヴルへ移動。所要時間（距離）：2時間（140 km）

① ル・アーヴル港の散策 - モネが『「印象・日の出」を描いた場所、サウサンプトン港の栈橋
散策の所要時間：30分（各自、自由に散策）

② アンドレ・マルロー近代美術館(MuMa)訪問、フランスで最も美しい印象派のコレクションのひとつです。見学時間：1時間～1時間30分

- ・ オプション：19世紀に人気を博した海辺のリゾート地、サント・アドレスまで、海沿いを自転車でのんびりサイクリング。
- ・ オプション：ル・アーヴルの沖合で、ノルマンディーの光の変化を眺めながら海への小旅行をお楽しみください。

ル・アーヴルからオンフルールへ移動。所要時間（距離）：35分（25 km）

サン・シメオン農場のレストラン「ブカンヌ」でランチ

.....

ル・アーヴルからオンフルールへ移動。所要時間（距離）：35分（25 km）

印象派の足跡をたどって、サン・シメオン農場で野外スケッチ体験ワークショップの時間：2時間

③ ・ オプション：画家たちゆかりの地をめぐるオンフルールのガイド付きツアー
所要時間1時間15分～1時間45分
・ オプション：トロヴィルの海辺でシーフードの盛り合わせを楽しみ、1870年に若きクロード・モネによって不朽の名作に描かれた海辺の散歩道を散策した後、ドーヴィルのフランシスコ会修道院のコレクションを見学します。
散策の所要時間：3時間

オンフルールからル・アーヴルへ移動。所要時間（距離）：35分～40分（25 km）

ル・アーヴルで夕食・宿泊

おすすめ

オンフルールの魅力を存分に味わうためには、連休や夏期はできるだけ避けた方が良いでしょう。



午後

ノルマンディー ル・アーヴルから ディエップへ

エトルタからディエップへ：アルバトル海岸の断崖絶壁に魅せられて

アルバトル海岸の壮大な断崖、なだらかに続く小石の浜辺、昔ながらの漁港の風景——モネが1880年代に心を奪われ、繰り返し描いた情景がここに 있습니다。エトルタからディエップへと足を延ばせば、光と影の移ろいに魅せられた画家のまなざしが感じられるでしょう。

2日目

午前

ル・アーヴルからエトルタへ移動。バスでの移動時間（距離）：40分（28km）

① エトルタの断崖のガイドつき散策、またはエトルタ庭園見学。
所要時間：2時間～2時間30分

バスでの移動時間（距離）：1時間40分（115km）

ディエップでランチ。

.....

ディエップ城美術館の見学、ルノワール、ブーダン、ピサロ、エヴァ・ゴンザレスなどの作品が展示されています。
見学時間：1時間～1時間30分

・ディエップ城美術館の代替案：エトルタで昼食。

エトルタからヴァランジュヴィル・シュル・メールへ移動。
バスでの移動時間（距離）：1時間30分～1時間45分（選択したルートにより77～100km）

ヴァランジュヴィル・シュル・メールでの行程：海を見下ろすサン・ヴァレリー教会を見学。モネが7度描いたこの地は、景観と芸術が調和する名所です。

ボワ・デ・ムティエを訪れ、19世紀末のもうひとつの芸術運動、アーツ・アンド・クラフツ運動の傑作を鑑賞。所要時間：2時間～2時間30分

ディエップまたはヴァランジュヴィル・シュル・メールからルーアンへ移動。バスでの移動時間（距離）：1時間～1時間10分（65km）
ディエップから列車での行程：TER直通で50分から1時間、ルーアン・リヴ・ドロワ駅に到着。

ルーアンで夕食・宿泊。

午後

おすすめ

散策を最大限に楽しむためには、混雑する時間帯を避け、シーズンオフなどの比較的静かな時期にエトルタを訪れることをお勧めします。

ルーアンとセーヌ川迂曲部：モネ「ルーアン大聖堂」連作の舞台へ

セーヌ川の大きな蛇行のほとりに位置するルーアンは、印象派の画家たちを魅了してきました。中でもモネはルーアン大聖堂に深い関心を寄せ、光や季節の移ろいによって表情を変える大聖堂を繰り返し描き、「ルーアン大聖堂」連作を生み出しました。その一作は現在ルーアン美術館に所蔵されており、同館はパリ以外では最も充実した印象派コレクションを誇ります。

3日目

午前

- ① ルーアン美術館の見学。
見学時間：1時間30分～2時間

ルーアンでランチ

.....

印象派の画家たちにとってまさに「空の工房」のような場所であるルーアンの中心部を散策します。モネばかりでなく、ピサロとシスレーも、歴史に満ちた路地と、現在もなお残る川の魔法に魅了されました。

所要時間：2時間

- ②
- ・代替案：サント＝カトリーヌ海岸を巡る旅、写真映えするスポットルーアンのパノラマビューと夕陽が美しいフォトジェニックなスポットで、モネも愛した場所です。
 - ・代替案：セーヌ川のクルーズ、ルーアンからラ・ブイユへ。
 - ・代替案：セーヌ川沿いの自転車コース、ルーアンからラ・ブイユまで。

ルーアンでディナー

- ③ 夜のスペクタクル「光の大聖堂」：毎年夏、ゴシック様式のこの大聖堂が音と光の華やかなショーで幻想的に照らし出されます。

ルーアン泊



午後

ノルマンディー ルーアンから ジヴェルニーへ

ジヴェルニー：モネの創作の源をたどる場所

ジヴェルニーを訪れることは、クロード・モネが彼の最高傑作である「睡蓮」や「積みわら」、「ポプラ並木」などを描くうえで感じたインスピレーションの源に触れることでもあります。散策すると、睡蓮の池に映る光、有名な日本風橋、クロード・モネの家と庭園を彩る豊かな色彩が迎えてくれます。

4日目

午前



① 早朝、クロード・モネの家と庭園を見学。

1883年から、ジヴェルニーに居を構えたモネは、ついに楽園を見つけました。最初は単なる田舎の家だったジヴェルニーは、徐々に花の傑作へと変貌を遂げました。画家自身の手によって造られた有名な睡蓮の庭、日本風橋、池などが特徴です。現在では、当時の姿を忠実に再現した邸宅と庭園が、画家の私的な世界へと誘ってくれます。

見学時間：2 時間

ラ・ミュサルディエールまたはル ジャルダン デ プルームでランチ

.....

ジヴェルニー印象派美術館

見学時間：1 時間

- ・ オプション：ジヴェルニー自転車ツアー。セーヌ川沿いを自転車で散策し、ガイドの解説を聞きながら、ブランシュ・オシェデ・モネ美術館（ヴェルノン）を見学し、パリへ電車に戻ります。
散策の所要時間：約2時間30分

ジヴェルニーからパリへの移動。所要時間（距離）：1時間15分～1時間30分（72km）

午後

プログラム終了
ノルマンディー

おすすめ

この象徴的な場所を最大限に楽しむためには、**春や秋の平日**にジヴェルニーを訪れることをお勧めします。時間的には、**午後遅くは村も庭園も比較的静か**です。

ジヴェルニーまたはその周辺に一泊すると、日の出と日没の時間帯に村を存分に楽しむことができます。





印象派を巡る旅

幸せなひとときを探しに



「エトルタ：ビーチとアモンの断崖」、クロード・モネ、オルセー美術館蔵



印象派を巡る旅
幸せなひとときを探しに

お問い合わせ

traveltrade@chooseparisregion.org



e.valere@normandie-tourisme.fr



Visit Paris Region とノルマンディー地域観光委員会 (CPR/Rb) が作成した文書、2025年5月。写真：ひなげし、クロード・モネ、オルセー美術館・睡蓮の池、緑のハーモニー、クロード・モネ、オルセー美術館、クロード・モネ財団、ジヴェルニー/著作権所有、RMN-グラン・パレ (オルセー美術館) /エルヴェ・レヴァンドフスキ、デザイン：バステューユ代理店・エトルタ：ビーチとポルト・ダモン、クロード・モネ、オルセー美術館・CPR：ブシェ、旅する鳥たち/A. レッシー、ヘルスリー、トリベロン・ジャリー・イメージの地球-MSL・ジュリエット JNSPC・印象・日の出、マルモッタム・モネ美術館/Christian Baraja/SLB 博物館・ブコウスキー & ヴァガボンデ・探検家/ヴァランタン・パコー・N.ルセルフ・マリ・アナイス・ティエリー・Stock.adobe.com：ディディエ・ローラン、SCStock。トーマス・ル・フロック